

研修報告書

所属 沖縄県立 知念高等学校

職名 教諭 大城 盛隆

1 研修名

平成27年度「若手教員米国派遣交流事業（派遣プログラム）」

2 目的

○教員の米国理解の深化を通じた若年層の米国理解の促進

○日米交流を通じた日米同盟の強化

3 場所

ワシントンDC及びポートランド

4 概要<研修のスケジュール>

7月21日（火）東京他県の教員との顔合わせ

22日（水）東京外務省で事前研修

23日（木）成田空港発ワシントン着（デトロイト経由）

24日（金）ワシントン The Japan Information and Culture Center

25日（土）ワシントン発ポートランド着（ミネアポリス経由）

26日（日）ホームステイ先へ（Almada 家：この後2週間ホームステイ）

27日（月）～8月7日（金）ポートランド州立大学(PSU)での講義+フィールドワーク

27日（月） 午前：University System（アメリカの大学制度）

午後：PSU campus tour & Special speech

28日（火） 午前：Environment conservation & city planning

午後：Portland Development Commission

29日（水） 午前：Social System & company culture（アメリカの企業文化）

午後：Columbia Sports 社（コロンビアスポーツ社見学）

30日（木） 午前：Local production for consumption（地産地消）

午後：Farmers market（ファーマーズ・マーケット見学）

31日（金） 午前：School & educational System（学校制度）

午後：Valley Catholic high school（高校見学）

8月1日（土）～2日（日）with host family

3日（月） 午前：Volunteer・homelessness

午後：Volunteer Center 訪問

4日（火） 午前：School customs/American view of Japan

午後：Discussion with university student（大学生とのディスカッション）

5日（水） 午前：History of Japanese American（日系人の歴史）

午後：Nikkei Legacy Center（日系レガシーセンター訪問）

6日（木） 午前：Energy policy & environment activity（アメリカのエネルギー政策）

午後：Bonneville Dam（ボナビル・ダム見学）

7日（金） 午前：Presentation（研究報告会）・Certificate Ceremony（修了式）

午後：Self study time（自主研修）

8日(土)	with host family
9日(日)	ポートランド発
10日(月)	成田空港着

5 所感

私は、約3週間、環境や異文化・多様性に加えて近年サステナビリティやライフワークバランスの先進都市として全米でも注目される“ポートランド”にてホームステイ、そして教育機関年を生業として設立され、全米でも日本研究同分野にて極めて有名な大学として有名なオレゴン州最大のポートランド州立大学等でアメリカ文化等について学習してきました。米国理解が研修目的のため、1日1テーマを設定し、日々アメリカ文化について午前に講義、午後に現地活動を行いました。講義では、単なるレクチャーに留まらず、実践プログラムの紹介や現場訪問や現場での意見交換等の現地活動も行いました。ポートランドの街作りへの取り組みでは、日本人の山崎さんが街づくりを行っていました。日本人のアイデアがアメリカの一つの町を変えている現実に私自身、信じがたい思いと驚きを感じたのを今でも覚えています。現地で英語を教えているアメリカ人教師達との意見交換では、“What is fun”という言葉が印象的でした。英語学習を面白くすることで大きな学習効果が生まれるという意見でした。現地の日系センターでの研修では、ポートランド開拓に大きな影響を与えたのは日本人であるという歴史を学ぶことができました。そのような日本人のおかげで、現在でもアメリカ人は日本人に対する信頼が厚いそうです。アメリカの地産地消の考え方も勉強になりました。地元で作った穀物を地元の間人が消費していくという考え方に新鮮味を覚えました。アメリカと日本を比較し、大きく異なる点の一つとして、慈善事業に対する考え方です。宗教的な部分の影響が大きいのは間違いありません。しかし、社会全体として慈善事業を奨励している点では、その規模の大きさは日本と大きく異なるのではないかと感じました。アメリカの学校制度の講義では、アメリカ独特の教育として学校登校せずに家で学習するホームスクーリングという制度を学びました。宗教的な影響もあるようですが、子ども達の独自の生活スタイルを大切にしていきたい全体の5%の保護者は、その制度を利用しているそうです。アメリカ社会の問題としてホームレスの多さがあります。格差社会のアメリカでは、ホームレスの数が年々増加傾向にあり、ポートランドでも大きな問題でした。このホームレスの方々が、薬物問題を起こしている現状がありました。

上記の様な研修を受講しながら、一週間に一度英語によるプレゼンテーションを行いました。私は、アメリカと日本の教育について興味を持っていましたので、最初のプレゼンは「ALT」について次のプレゼンは「アメリカの教育制度」について発表しました。プレゼンの後には、質疑応答があり、アメリカ人の方々からの多くの質問を受けました。その質問のおかげで私自身の知識をこれまで以上に深めることができました。

3週間の研修を終えて感じたことは、アメリカ社会で生き抜くには「英語で自分の意見を主張すること」が大切であることを気づかされました。英語で自己主張することこそが当然の行動でした。その自己主張が弱いと自分の立場が弱くなったり、意見交換ができない文化ではないかと感じました。英語教師として「英語で自己表現すること」の大切さを授業を通して指導していかなければいけないと強く感じました。

最後に約3週間もの間、学校を留守にし、多くの職員に御迷惑をお掛けしました。研修参加を許可していただいた校長及び教頭先生には感謝の言葉しかありません。今後の学校活動の中で生徒達にこの研修で学んだことを還元していきたいと考えています。